



子どもたちが自慢できる学校を！

大塔っ子

佐世保市立大塔小学校

学校だより 校長 酒井元治

令和4年度 第7号 10月3日発行

みんなで学ぶことの意味

大塔小学校では令和2年度から算数を中心とした授業の改善に努めています。「先生たちは教える者」だけではなく、どうやったらわかりやすい授業を子どもたちに提供できるかを、職員相互で、子どもたちの姿を通して「学ぶ者」でもあります。それは、私のように教職経験30年以上のベテランであっても、経験の浅い若手であっても同じことです。

さて、本校の研究では、授業前の黙想で子どもたちの集中力や落ち着きを持たせることから始まって、授業の「めあて」や「まとめ」の文言とそれまでの流れ、振り返りの時間の設定などのほかに「学び合いの時間」の在り方を研究しています。



「学び合い」とは、簡単に言えば子どもたち相互の情報交換です。社会に出ると一人で解決できないことが数多く存在します。「三人寄れば文殊の知恵」、同じ課題に向けてそれぞれの意見を出し合うことで、それぞれの考えは深まり、学びの質も高くなっていきます。その具体例を私なりの考えで下に示します。

・問題解決の方法を友だちと交流しあうことで、自分の解き方に自信が持てる。

ただ、問題をやって先生と答え合わせをするというのではなく、一斉で開き合う前にペアや小グループで交流することで自分の考えに自信を持ったり、自分の間違いに気づいたりすることができるということです。ただし、これはまだ「学び合い」の初歩の段階と言えます。

・他人に教えることは論理的な思考を整理し、思考力・表現力を高めること。

「学び合い」の活動を授業の中に設定したとき、保護者の方から「うちの子はできているから、もっと難しい問題を出してやってください。わからない子のために時間を割くのはもったいない。」というご指摘をもらったことがあります。(大塔小ではありません)

確かにできる子には応用問題を提示し鍛えるというのも適切な方法ですし、学校現場でも実際に取り扱っています。では、いわゆる「わかっている子」には「学び合い」は必要ないか、というところではありません。自分がわかっていることと、他人がわかるように教えることでは「学び」の質が大きく違ってきます。これは私たち教師が日々悪戦苦闘していることです。もちろん教師は理解していながら、それをわかるように子どもたちに伝えるというところに頭をひねるのです。ご家庭でもそういう経験はありませんか？お父さん、お母さんはわかっているのに、お子さんに教えるとなるとどういう言葉でどういう具体例を出して説明しようかと…。

つまり、「他人に教える」ということは、より高い次元での理解が必要となり、他人に伝えるための表現力が必要となります。

・違いに気づくことは、違った他人を認め、自分に気づくこと。

本校で研究の中心としている算数では、ほとんどの場合答えは一つです。 $600 \div 200$ の答えは3であり、その他の答えはありません。しかし、その答えが正しいことを説明するとなると、百円玉を描いて説明する子、文章で説明する子、式を並べて説明する子、様々です。百円玉で説明する子だってその表現は様々でしょう。その違いに気づき、数多くの「なるほど」を見つけることは自分の世界を広げることです。自分とは違った他人を認め、「ここは自分の考えになかった」と自分に気づくこととなります。

と、くどくどと説明されてもわかりづらいかもしれないので実際の授業場面の紹介。(裏面)

これは私（酒井）が最近行った授業です。急な職員の長期病気休暇のため2学期は私が5年生の理科全てを担当し、5年生に付き合ってもらっています。

2学期始めは「植物の実や種子の作り方」と学習です。内容は以下の通り。

- ・植物にはおしべ、めしべ、花粉などがあること。また、おしべしか持たない「おばな」とめしべしか持たない「めばな」の植物もあること。
- ・おしべの花粉がめしべについて受粉することで、実や種子ができること。

内容はこれだけですが、このことをおしべやめしべ、花粉の観察（顕微鏡を使用）や実験を通して調べていきます。7時間程度の学習です。最初の1時間でクイズや写真などを提示しながら、

植物の花と実や種子の作り方の関係を調べていこう。

という大きなめあてを決めました。この学習の中心となる内容です。前述の学習活動（観察や実験）を行ってのこの学習最後の授業です。

（私） 「この学習では『植物の花と実や種子の作り方の関係を調べていこう』という大きなめあてで学習してきました。今日はそのまとめです。学習の中でいろいろな言葉が出てきましたね。どんな言葉があったかな？」

（児童） 「おしべ」「めしべ」「花粉」「おばな」「めばな」「受粉」「がく」「花びら」…

（私） 「では、みんなが出してくれたキーワードをできるだけ使ってどうやったら実や種子ができるのかを言葉でまとめてみましょう。文の最後は「～すると実や種子ができる」となりそうですね。文はいくつになってもいいです。この通りの表現でなくても構いません。

まずは個々にノートに書きます。書けない子もちろほらです。次に時間を決めてグループで話し合わせ、決めたものをそれぞれのグループで黒板に書きます。各グループではワイワイ話し合いが始まります。同じようなことを書いていても表現やキーワードの使い方が違うからです。私は「友だちの『いいところ取り』するんだよ。」と勝手なアドバイス。

さらに、学級全体で各グループのまとめを確認。最後は「まとめ方に絶対はありません。黒板に書かれたもの見てさらに『いいところ取り』をして自分でまとめてみよう。」ということで個人に返しました。

お粗末な授業で本当の意味での「学び合い」になっていたどうかは怪しいところですが、私がまとめて「ハイ終わり！」ではなく、子どもたちはそれぞれの違いを探り合って少しでも質の高い自分たちのまとめができたのではないかと感じたところです。「みんなで学ぶ意味」を考えながら職員相互での授業力の向上を目指しています。

10月行事予定

日	曜	行事等	日	曜	行事等
4	火	全校朝会 PTA 総務委員会	17	月	係打ち合わせ（4年生は5校時まで）
5	水	集団下校 6校時カット	18	火	運動会総練習会場準備
7	金	運動会応援練習（朝の活動）	19	水	運動会総練習（1～3校時）
10	月	㊞スポーツの日	21	金	運動会会場設営（3・4年生は5校時まで）
11	火	体育朝会 全体練習（1校時）	23	日	運動会（9：00～12：00） 雨天時は24日
12	水	全体練習（1校時）クラブ（4～6年）	24	月	運動会振替休日
14	金	全体練習（1校時）応援練習（2校時） PTA 運営委員会	25	火	児童集会（運動会応援団解団式）

運動会の参観について

23日（日）に予定しています運動会について、まだコロナ対策は予断を許さないところですが、本校及び市内の感染状況、運動場の広さなどを考慮し、昨年までの参観者の人数制限を設けないこととします。

ただし、各ご家庭でマスク着用やソーシャルディスタンス等の対策をとっていただいた上で、体調不良者のご参観についてはご遠慮ください。